

2020年度入試状況分析【私立大】

〔大学別分析〕

大学	方式	志願者数増減		2020年度		2019年度		コメント
		増減数	指数	募集人員	志願者数	募集人員	志願者数	
北星学園大	一般	+177	109	409	2,186	409	2,009	大学全体では、234人(107)のやや増加で、4年連続増加。志願者数は2年連続で、3,000人を上回った。学部別では、社会福祉(111)、文(110)は2年連続、経済(105)は3年連続で、いずれも増加。学科別では、経済(経済法)(89)、社会福祉(福祉心理)(93)は減少したが、他は増加。社会福祉(福祉臨床)(139)、経済(経営情報)(131)、文(英文)(115)は大幅増加。
	センター	+57	105	89	1,249	89	1,192	
北海道医療大	一般	-183	93	291	2,408	303	2,591	大学全体では、168人(96)のやや減少で、6年連続減少。学部別では、新設2年目の医療技術(189)がセンター利用方式導入で激増し、既存の一般方式(123)も大幅増加。一方で、他の5学部は減少し、特に心理学(80)は大幅減少。学科別でも増加したのは、看護福祉(看護)(101)のみ。リハビリテーション科学(理学療法)(81)は大幅減少。
	センター	+15	101	140	1,651	128	1,636	
北海道科学大	一般	+1,121	128	309	5,164	309	4,043	大学全体では、1,814人(125)の大幅増加で、3年連続増加。4学部全てが増加し、特に工(149)、未来デザイン(143)はいずれも2年連続大幅増加。工の増加数が大学全体の増加数の70%以上を占めた。2学部とも全学科が30%以上の大幅増加。保健医療(107)、薬(106)はやや増加。学科別でも減少したのは、微減の保健医療(臨床工)(99)のみ。
	センター	+693	122	131	3,904	131	3,211	
酪農学園大	一般	-67	96	246	1,474	246	1,541	大学全体では、103人(96)のやや減少で、3年連続減少。獣医(獣医)(91)は3年連続減少で、最後に増加した2017年度と比べると、30%以上の大幅減少。獣医(動物保険看護)(102)は微増だが、4年ぶりに増加。農食環境(102)は微増で、2年ぶりに増加。学類・コース別では、(食と健康)(118)の大幅増加、(循環農)(91)の減少が目立った。
	センター	-36	96	63	803	63	839	
東北福祉大	一般	+467	112	576	4,421	593	3,954	大学全体では、422人(107)のやや増加で、2年連続増加。学部別では、総合マネジメント(93)が前年度大幅増加の反動で、やや減少したが、他の3学部は増加。学科別では、総合マネジメントの2学科、健康科学(保健看護)(92)、総合福祉(福祉心理)(96)は減少したが、他は増加。
	センター	-45	98	151	2,237	155	2,282	
文教大	一般	+703	106	930	13,225	927	12,522	大学全体では、682人(97)のやや減少で、2年ぶりに減少。センター利用方式が前年度大幅増加の反動で、大幅減少したことが影響。学部別では、経営(109)、情報(108)、国際(102)がいずれも2年連続増加だが、他の4学部は減少。特に健康栄養(83)、文(85)は大幅減少で、文は大幅な増減が継続。
	センター	-1,385	82	294	6,427	292	7,812	
大妻女子大	一般	-724	84	436	3,744	433	4,468	大学全体では、前年度大幅増加の反動で、2,455人(70)の大幅減少、志願者数は7年ぶりに6,000人を下回った。5学部全てが減少し、家政(89)以外の4学部はいずれも30%以上の大幅減少。特に比較文化(37)は2年連続大幅増加の反動で激減。学科・専攻別で増加したのは、家政(ライフデザイン)(125)のみ。
	センター	-1,731	53	243	1,933	243	3,664	
北里大	一般	-241	98	1,045	10,462	1,044	10,703	大学全体では、1,188人(92)の減少で、4年連続減少。廃止の薬<セ>を除いても(97)のやや減少。学部別では、薬(64)、看護(78)、海洋生命科学(85)が大幅減少、獣医(95)はやや減少で他の3学部は増加。一方で、医療衛生(110)はリハビリテーション/言語聴覚療法(74)、(医療工/臨床工)(98)以外の学科・専攻は増加。医(104)は3年ぶりに増加。
	センター	-947	78	185	3,366	197	4,313	
国際基督教大	一般	+37	103	300	1,292	300	1,255	大学全体では、37(103)のやや増加で、5年ぶりに増加。方式別では、<B方式>(114)は増加で、前年度の反動による増減が継続。<A方式>(102)は2年連続減少の反動は小さく微増。
	センター							
実践女子大	一般	-283	93	373	3,991	351	4,274	大学全体では、1,094人(85)の大幅減少で、4年ぶりに減少。センター利用方式(73)の大幅減少が大きく影響。学部別では、3学部全てで減少し、特に人間社会(70)は大幅減少。学科・専攻別では、(生活文化/幼児保育)(151)のみ増加。
	センター	-811	73	195	2,231	198	3,042	
昭和大学	一般	-1,631	78	339	5,867	342	7,498	大学全体では、1,905人(79)の大幅減少で、2年連続減少。系統への人気低下が影響。4学部全てが一般方式、センター利用方式のいずれも減少し、保健医療(94)以外の3学部は大幅減少。薬(71)は2年連続減少、医(78)は4年連続減少、歯(79)は3年ぶりに減少。
	センター	-274	80	86	1,116	86	1,390	
昭和薬科大	一般	-185	83	100	882	100	1,067	大学全体では、298人(86)の減少で、2年ぶりの減少、志願者数は2,000人を下回った。方式別では、一般方式<B方式>(83)は大幅減少で、6年連続減少。センター利用方式(90)は2方式とも2年ぶりに減少。特に<セ・C方式>(74)は大幅減少。
	センター	-113	90	40	1,017	40	1,130	

2020年度入試状況分析【私立大】

大学	方式	志願者数増減		2020年度		2019年度		コメント
		増減数	指数	募集人員	志願者数	募集人員	志願者数	
玉川大	一般	-142	98	752	6,903	833	7,045	大学全体では、589人(94)のやや減少で、3年ぶりの減少、志願者数は3年ぶりに1万人を下回った。学部別では、工(122)が系統への人気上昇から大幅増加で、3年連続増加。芸術(111)は2年ぶりに増加したが、他の6学部はいずれも減少し、特に観光(76)、農(76)、経営(84)は大幅減少。農は3年連続減少、観光は5年ぶりの減少。
	センター	-447	85	199	2,622	270	3,069	
東京経済大	一般	+14	100	743	8,544	733	8,530	大学全体では、1,018人(92)の減少で、2年連続減少。学部・プログラム別では、コミュニケーション(113)が2年連続増加、経済(100)は微増だが、3年ぶりに増加。一方で、他の2学部1プログラムは減少。特に2年次から学部所属となるキャリアデザインプログラム(32)は、前年度2.3倍増の反動で激減、大学全体の減少数の80%以上を占めた。
	センター	-1,032	78	161	3,704	166	4,736	
東京薬科大	一般	+25	101	212	2,021	197	1,996	大学全体では、153人(104)のやや増加で、4年ぶりに増加。学部別では、生命科学(132)が大幅増加で、3年連続増加。3学科全てが増加し、特に(応用生命科学)(149)、(分子生命科学)(149)は大幅増加。一方で、薬(90)は6年連続減少で、最後に増加した2014年度比約37%もの大幅減少。(女子部)(86)は7年連続、(男子部)(94)は6年連続でいずれも減少。
	センター	+128	109	103	1,569	118	1,441	
日本獣医生命科学大	一般	-177	91	193	1,863	179	2,040	大学全体では、前年度大幅増加の反動で、694人(84)の大幅減少。獣医(獣医保健看護)(95)はやや減少で、前年度と逆の増減が継続。獣医(獣医)(83)は4方式全てが減少したが、特にセンター利用方式(69)は2方式とも大幅減少。応用生命科学(80)は前年度大幅増加の反動で、大幅減少となり、志願者数は2年ぶりに1,000人を下回った。2学科とも大幅減少。
	センター	-517	77	70	1,736	86	2,253	
星薬科大	一般	-134	92	128	1,457	128	1,591	大学全体では、281人(91)の減少で6年連続減少。最後に増加した2014年度比30%近い大幅減少。学科別では、(創薬科学)(103)はやや増加で4年ぶりの増加だが、(薬)(90)は6年連続減少。
	センター	-147	90	48	1,388	48	1,535	
武蔵大	一般	+752	106	486	13,947	508	13,195	大学全体では、68人(100)の微減だが、4年ぶりに減少。方式別では、一般方式(106)はやや増加で、4年連続増加。一方で、センター利用方式(86)は3年連続減少。学部別では、経済(110)は3学科全てが2年連続増加。特に(金融)(128)は大幅増加。一方で、社会(90)は2年連続減少、人文(93)はやや減少で、4年ぶりに減少。
	センター	-820	86	206	4,855	200	5,675	
明治薬科大	一般	-87	96	180	1,970	180	2,057	大学全体では、105人(97)のやや減少で、4年連続減少。最後に増加した2016年度比30%以上の大幅減少。学科別では、(生命創薬科学)(118)は大幅増加で、2年ぶりに増加したが、(薬)(92)はやや減少で、4年連続減少。
	センター	-18	99	40	1,202	40	1,220	
麻布大	一般	-266	91	300	2,719	300	2,985	大学全体では、641人(87)の減少で、2年連続減少。獣医(動物応用化学)(86)、獣医(獣医)(93)はいずれも2年連続減少。生命・環境科学(79)は大幅減少で、2年連続減少。3学科全てが減少し、(食品生命科学)(61)は大幅減少で、2年連続減少。(環境科学)(85)は2年連続大幅増加の反動で、大幅減少。
	センター	-375	81	52	1,650	52	2,025	
京都女子大	一般	+61	101	491	4,248	509	4,187	大学全体では、319人(96)のやや減少で、2年ぶりに減少。学部別では、発達教育(105)は前年度大幅増加の反動はなく、やや増加したが、他の4学部は減少。特に法(76)は、前年度大幅増加の反動で大幅減少。学科・専攻別では、現代社会(現代社会/国際社会)(121)、発達教育(児童)(116)が大幅増加。一方で、文(英文)(77)、家政(食物栄養)(79)、文(史学)(83)は大幅減少。
	センター	-380	88	220	2,776	220	3,156	
京都薬科大	一般	-208	82	180	954	180	1,162	大学全体では、406人(81)の大幅減少で、前年度と逆の増減が継続。志願者数は9年ぶりに2,000人を下回った。3方式全てが大幅減少。
	センター	-198	80	50	788	50	986	
同志社女子大	一般	-510	93	683	6,721	694	7,231	大学全体では、695人(92)の減少で、前年度5年ぶりに増加したが、再度減少に転じた。学部別では、薬(111)が6年ぶりに増加、看護(104)はやや増加で4年ぶりに増加したが、他の4学部は減少。特に現代社会(83)は大幅減少。減少した4学部の学科・専攻別で増加したのは、学芸(メディア創造)(115)、生活科学(食物栄養科学/管理栄養士)(100)のみ。
	センター	-185	90	141	1,651	110	1,836	
大阪工業大	一般	-723	93	728	10,059	728	10,782	大学全体では、999人(95)のやや減少で、5年ぶりに減少。学部別では、工(101)を除いた3学部は減少。特に知的財産(77)は大幅減少。学科別では、工は(応用化学)(107)、(機械工)(107)などが増加したが、ロボティクス&デザイン工(88)、情報科学(90)は全学科が減少。情報科学(情報メディア)(77)、ロボティクス&デザイン工(空間デザイン)(78)は大幅減少。
	センター	-276	97	223	9,043	223	9,319	

2020年度入試状況分析【私立大】

大学	方式	志願者数増減		2020年度		2019年度		コメント
		増減数	指数	募集人員	志願者数	募集人員	志願者数	
大阪薬科大	一般	±0	100	150	1,352	150	1,352	大学全体では、96人(106)のやや増加で、6年ぶりに増加。一般方式(100)は<A方式>(109)が4年ぶりに増加だが、<B方式>(89)は4年連続減少。センター利用方式(127)は前年度大幅減少の反動で、大幅増加。
	センター	+96	127	14	456	14	360	
摂南大	一般	-6,312	75	1,053	18,578	892	24,890	大学全体では、9,937人(74)の大幅減少で、7年ぶりに減少。志願者数は3年ぶりに3万人を下回った。新設の農を除くと、15,006人(61)の大幅減少で、6年連続増加の反動がはっきりと表れた。既存の7学部全てが30%以上の大幅減少で、特に外国語(55)、経営(57)、法(58)、経済(61)の文系4学部の減少率の大きさが目立った。
	センター	-3,625	73	147	9,997	121	13,622	
甲南女子大	一般	+291	105	354	6,150	360	5,859	大学全体では、346人(96)のやや減少で、4年ぶりに減少。学部別では、医療栄養(109)は2年連続減少の反動で増加、人間科学(106)はやや増加。一方で、看護リハビリテーション(88)は4年連続減少。文(95)はやや減少で、文の学科改組で新設の国際との合計でも、(97)のやや減少。
	センター	-637	82	147	2,961	146	3,598	
神戸薬科大	一般	-160	90	140	1,444	140	1,604	大学全体では、151人(93)のやや減少で、3年連続減少。方式別では、センター利用方式(102)は2年連続微増だが、一般方式(90)は3年連続減少で、3方式全てが減少。<中期>(85)は2年連続大幅減少、<前期>(93)はやや減少で、6年連続減少。
	センター	+9	102	10	466	10	457	
松山大	一般	-493	91	678	5,256	673	5,749	大学全体では、561人(93)のやや減少で、4年連続減少。減少数はこの4年間で最多。5学部全てが減少し、特に薬(86)は前年度大幅増加の反動で、減少率が最も大きい学部だった。人文(87)は2学科とも2年ぶりに減少し、(英語英米文)(71)は大幅減少。経営(91)は3年連続減少、法(95)、経済(98)はいずれも2年連続減少。
	センター	-68	96	175	1,747	170	1,815	